

<4時から夢塾> 示範授業:その1

第12回「4時から夢塾」は、10月18日(金)に、今町小学校で、新潟大学教育学部附属長岡小学校の平野秀穂先生を講師に、「国語の授業改善」をテーマに開催しました。提案授業・ミニ講座の概要です。



(1) 4年1組 単元名:「つなげて読もうー『犬』ー」 (授業の流れを記す)

犬	金子みすず
1	うちのダリアのさいた日に
2	酒屋のクロは死にました。
3	
4	おもてで遊ぶわたしらを
5	いつもおこるおばさんが
6	おろおろないておりました。
7	
8	その日 学校でそのことを
9	おもしろそうに話してて
10	
11	ふっと□□□□ になりました。

- 金子みすずの「犬」の詩を板書し、音読をする。
- 詩の語句の確認をする。(ダリアの色, わたしらは誰等)
- 「そのことを」とは、何のことですか?
C クロの死 おばさんがないていたこと...
- 詩の中から、反対(対比)の言葉を探す。
C おこるーなく さいたー死 ダリア(赤)ークロ(黒)
- の中に、何が入ると思う?
C さびしく さみしく かなしく かわいそう
- なんで、ここに『さみしく』が入るか理由言える人?
...「今日は、◎なぜ『さみしく』が入るかを考えます」
(さみしくの理由を、ワークシートを使って仲間と話し合う)
・おもしろそうに話してて、何で『さみしく』なったの?



- ・『さみしく』なったのは、誰ですか? C おばさん 女の子 おばさんの子ども...
- 7「なるほど」と思った根拠や理由を、ワークシートに付け足す。(自分の考えの整理の場)

(2) 協議会・・・平野先生の講話

○「異なる考えでも許容される課題について、仲間との話し合いを通して、自分の根拠や理由を見直すこと。さらに、それを最後まで続けるように促すことが、資質・能力を育む有効な手立てとなる。」ことを、この授業で見てもらった。このために、自分の立場や見方の自覚を促す教材や資料を提示することが大事である。



<参加者の声>

- 初対面の子どもの心の掴み方、机間指導でのメモの取り方や声のかけ方等を学ばせてもらった。
- 教材がもつ価値を教師が捉え、どうゴールを設定して子どもと授業を進めていくか。思考ツールの活用や子ども同士の対話の在り方も含め、大変勉強になった。
- 課題の提示に悩んでいるが、詩を読みながら、自然と課題に迫っていく工夫が勉強になった。
- 複数の根拠を見つけることが自然にできていて、論理的思考を育てるのに、有効だと思った。
- 詩の学習は、どうやって進めたらいいのだろうと悩むことが多いので、とても参考になった。